

ニュースと窓

■中国国家档案馆一行の来日

本年3月、中国国家档案局局长馮子直氏及び中国第一歴史档案馆副館長徐芸圃氏一行が、沖縄県の招きで来日されました。今回の来日は、今後県と第一歴史档案馆との間でマイクロフィルム化された資料の相互交換を行うため、その調印式に出席されるためでした。県は「歴代宝案」の編集事業を進めていますが、県所蔵文書には虫喰いや筆写時の誤記があるため、第一歴史档案馆所蔵文書のマイクロフィルムで補うことになっています。既に県立図書館の中に担当部局を設け事業を進めていますので、今後が期待されます。

さて、帰国前の3月21日(休)は都内の施設を見学されましたが、沖縄県のご好意で全史料協のために、4時間程の自由時間を設けて下さいました。そこで第1回及び第2回全史料協訪中団のメンバーを中心に歓迎昼食会を開催し、旧交を温め懇親を深めてまいりました。席上馮局長から、1996年のICA北京大会に全史料協メンバーが多数参加して下さいようにとの要請がありました。(東京都公文書館・水野保氏寄)



■中国航空航天档案馆一行の来日



国立史料館見学